

225	224	223	222	221	220	219	218	217	216	215	214	213	212	211	210	209	208	207	206	205	204	203	202	201	番号	句	住所・氏名		
映をゆく草窓に映える若楓	外人席笑顔に溢れ回り寿司	朝からもらふ健康パワー焼酎	織状の大雨来襲梅雨列島	体温に迫る気温や梅雨最中	夏野菜青つ姿に黒い影	レース揺れ風鈴の音夏の風	金魚槽囲む小さな膝小僧	梅雨空の月の在り処や仄明り	とくとくの清水湧き続く幾星霜	経蔵の反古匂ひ来る若葉風	「ほうほう」と気脈の通ず輪漣かな	落蝉も胸に手を組み死にゆけり	ふるさとや手が覚えるし紫菀	尺蠖の泣けるが如く立ちあがり	供奉の百合真青の湖に漣へり	熟 ² 寝児に風送りつつ因襲落つ	ふるさは孫の代なり雛のぼり	腹に風些事こだからぬ墨のぼり	金雀枝をこぼして下る手漕舟	願中の口で青つや燕の子	入道雲彼方に父の征きし鳥	夏山や岩影ひそと道難碑	縁牡丹のくずれし雨の重さかな	石見なる伝説にほふまの秋					
摂津市南千里丘五			河野		菅江		大津市園分一		藤堂		藤司		草津市若草三				井上		次雄		大津市里六				宮崎		正子		

250	249	248	247	246	245	244	243	242	241	240	239	238	237	236	235	234	233	232	231	230	229	228	227	226	番号	句	住所・氏名	
曇り来て風のやはらか夜の秋	木漁れ日も通さぬ山寺の茂り	幻住庵の縁に聞き入る蝉の声	幻住庵包む静けさ夏木立	幻住庵寛の水音のみの夏	幻住庵先客のあり屋敷中	吊るされし短帯の揺れ風涼し	無翁の愛でし湖あり万縁裡	隠り塵を訪へば落ち果樹しぐれ	むくり塵根見せぬ四方の夏木立	栗の実のやさしく揺れし風生る	幻住庵縁側にゐる夏木立	標高にすつと汗ひく幻住庵	夏木立又夏木立ゆる山	蝉時雨幻住庵をつつみけり	曇りきて幻住庵の涼しさよ	開け放つ庵の静寂や蝉の声	防ねきて翁の化身か夏の蝶	石山のミスト歩道青紅葉	パリ五輪負ける姿や鎮心	ひまわりの嘆き何時まで止まず	ミサイルの捨て場にすな初夏の海	日傘たたみ安堵のの水に生きかへる	せせらぎに小魚きらり風薫る	早期の一期一会や蓮の花				
八尾市高安町		北葛城郡河合町		柏原市法善寺		八尾市山本		八尾市本町		八尾市山本町		八尾市大壠		八尾市安中町		八尾市開福川東		大津市園分		摂津市南千里丘五				河野		菅江		
加藤		前谷		藤本		吉井		若林		宮前		窪田		新井		米澤		藤堂						藤司				
ちえ		幸子		公子		清子		友子		作世		由紀子		敬子		悦子												